

社保シリーズ

歯周安定期治療(SPT)と歯周外科

7

社保研究部

今回は、歯周安定期治療(SPT)中に一旦中断し歯周外科を実施、再度症状の安定を確認してSPTに戻る症例を解説する。

症例解説

SPTは3カ月ごとを基本に、歯数に応じて算定する。開始後は、歯周病部分的再評価検査(P部検)、歯周炎に係る咬合調整(咬調)、SC、SRP、P処、歯清、在口衛およびP重防は、包括され別に算定できない。

症例は、SPT実施中に急性症状のため口腔内消炎手術後、歯肉剥離掻把手術(FOp)を実施している(9/12, 10/3)。口腔内消炎手術は、歯周外科ではないため、所定点数の減算もない。SPT開始後の歯周外科は、歯周精密検査で必要性を認めた場合に実施し、所定点数の50/100で算定する。

歯周外科の必要性を認めた9月26日の歯周精密検査でSPTは一旦中断となり、包括項目である歯清(10/3)、P部検(10/18)を算定している。中断中は再SRPも算定できる。

歯周外科を実施した日以降は、SPTは算定できない。SPTの再開は、歯周精密検査の結果、再び症状の安定を確認し継続管理が必要と判断された日以降となる。症例では2週間後にP部検で歯周外科を実施した部位の治癒の状態を評価し(10/18)、10月31日の歯周精密検査で症状の一部安定を確認しSPTを再開している。再開以降は前述の包括項目は算定できなくなる(11/24)。

歯周精密検査や歯周病検査、混合歯列期歯周病検査に際して、プラークコントロールの状態についてカラー写真を用いて患者などに指導し説明した場合、歯周病患者画像活用指導料(P画像)を1枚につき10点で5枚を限度に算定する(7/18, 10/31)。

SPTは、基本3カ月に1回の算定だが、間隔を短縮する必要があるときは、3カ月に満たなくても月1回に限り算定できる(表1)。歯周外科後のSPTにおいて、間隔を短縮する必要性を認めて10月にSPTを算定し、11月にも算定している。その場合、カルテには全身状態等を記載する。

2022年改定では、SPT(Ⅱ)が廃止され、SPTに集約された。精密検査の算定がない歯周外科手術の戻りや、P画像の戻りについての問合せが寄せられている。2022年改定までSPT(Ⅱ)の包括項目であったものを再度確認しておく必要がある。

表1 SPTの間隔短縮が必要な場合

記号	SPTの間隔短縮が必要な状態	左記状態におけるカルテ記載事項など
イ	歯周外科手術を実施した場合	・全身状態など
ロ	全身的な疾患の状態により歯周病の病状に大きく影響を与える場合	・3カ月以内の間隔で実施する理由、全身状態など
ハ	全身的な疾患の状態により歯周外科手術が実施できない場合	(この場合、主治の医師からの文書を添付)
ニ	侵襲性歯周炎の場合	・3カ月以内の間隔で実施する理由、全身状態など

P基検、P精検、P混検に際して実施し、5枚を限度に算定する

一般名処方加算は12月末まで2点増点

P急発に伴う口腔内消炎手術と同日の歯周病検査は不可。歯周病検査が可能な応分の間隔が必要

SPTを中断すると、包括項目の制限が外れ、歯清が算定できる

SPT実施後の歯周外科手術は50/100で算定する

P部検は、歯周外科手術後1回限り算定可能。4点以上の歯周ポケット測定とプロービング時の出血の有無を確認する

歯周外科手術を実施した場合、必要があれば間隔が短縮できる

部位	傷病名	診療開始日
7-7	P ₂	令和4年11月8日
6	P急発, GA	令和5年9月12日
〔年齢〕54歳女性		
〔主訴〕歯ぐきが腫れて痛い		
〔所見〕6 縁下ポケットあり		

月日	部位	療法・処置	点数
7/18		再診 明細 (56+1)	57
	7-7	P基検 (検査結果別紙) (200)	200
		P画像 (10+10×4)	50
		歯管 文 長期 (明細別紙) (100+10+100)	210
		症状の安定を確認、SPTによる治療の継続を説明	/
		SPT (350)	350
		歯清	/
7月分 867点			
9/12		再診 明細 (56+1)	57
		2, 3日前から奥歯あたりが腫れてきた。	/
		波動が触れるので切開	/
		歯管 文 長期 (明細別紙) (100+10+100)	210
	6	浸麻 OA+歯科用キシロカインCt1.8mL (10)	10
		口腔内消炎手術 (歯肉膿瘍) (180)	180
		歯肉部1cm切開し排膿 洗浄 動揺++	/
		処方箋 一般名処方加算2 (68+7)	75
		サワシリン錠250mg 1回1T 1日3回 3日分	/
		〔般〕ジクロフェナクNa錠25mg 1回2T 2回分	/
9/15		再診 明細 (56+1)	57
		SP (H ₂ O ₂)	/
9/26		再診 明細 (56+1)	57
	7-7	P精検 (検査結果別紙) (400)	400
		6 FOpの必要性を認め、SPTを中断	/
9月分 1,046点			
10/3		再診 明細 (56+1)	57
		歯管 文 長期 (明細別紙) (100+10+100)	210
		6 骨吸収が顕著なためFOpを実施	/
	7-7	歯清 (72)	72
	6	浸麻 OA+歯科用キシロカインCt1.8mL (10)	10
		FOp (630×50/100)	315
		処方箋 一般名処方加算2 (68+7)	75
		サワシリン錠250mg 1回1T 1日3回 3日分	/
		〔般〕ジクロフェナクNa錠25mg 1回2T 2回分	/
10/6		再診 明細 (56+1)	57
	6	SP (H ₂ O ₂)	/
10/18		再診 明細 (56+1)	57
	6	抜糸 感染所見認められず	/
		P部検 (15×1)	15
		プロービング時の出血なし、発赤・腫脹なく経過良好	/
10/31		再診 明細 (56+1)	57
	7-7	P精検 (検査結果別紙) (400)	400
		6 動揺、出血おさまり安定するもポケットが深い	/
		P画像 (10+10×4)	50
		SPT (全身状態等略) (350)	350
		SPTの間隔を1カ月で管理することを説明	/
	7-7	SC	/
10月分 1,725点			
11/24		再診 明細 (56+1)	57
	7-7	P精検 (検査結果別紙) (400×50/100)	200
		6 動揺、出血-, ポケット深い	/
		歯管 文 長期 (明細別紙) (100+10+100)	210
	7-7	SPT (全身状態等略) (350)	350
	7-7	SC	/
11月分 817点			